

みそら自—27—013

平成27年7月13日

四街道市長
佐渡 斉 様

みそら自治会会長 廣島 宏造



第五回交渉会の議題について

第五回交渉会を有意義な協議の場とするため、次の項目を議題としたい。

議題とすることについての回答は、平成27年7月17日（金）までをお願いします。

各項目の検討結果についての回答は、次の交渉会の前、7月27日（月）までに提出してください。

1. 第四回の交渉会において佐渡市長は、建設までの期間が短い他市の例があるのであれば、クリーンセンターの修理費は市の財政を圧迫するものであるから移転計画の期間を検討したいと言われました。そこで熊本県の山鹿市のケースを調査していただき、市として前に出された移転計画の期間を短縮して再度、提示してもらいたい。
2. 平成元年に自治会と市は協議書・協定書を締結しています。その後平成4年、現在のクリーンセンターが稼動しました。その時の建設に至る全ての項目とその実施工程表を明示してください（例えば、造成工事からのものだけでなく、ゴミ処理対策委員会の開催、機種選定の過程、一般廃棄物処理基本計画その他の計画の作成、環境調査等です）。
3. 現在市が提示した移転計画の内、一般廃棄物処理基本計画の見直しに1年半かかるとしています。現在21年3月に作成されたものがあり、環境省は5年毎の見直し、実施計画については年度毎に見直しをするように指導しています。その上で具体的に何をどのような過程で見直しが必要であるか理由を付して提示してください。又、現行の基本計画の作成に要した期間を明示してください。
4. 移転計画の項目3～9については、同時期に開始又は同じコンサルタントに発注することにより期間の短縮が図れると考えます。項目1と合わせて、四街道市として5年で稼動出来る計画を作成してもらいたい。

又、各項目に必要な委員会は何があり、何時審議の開始をするのか明示してください。

5. 項目14の長寿命化計画作成は施設が完成してからでもできると考えます。

以上

